

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-22 老人センター等の管理運営事業				タイムスコード及び個別事業名						
	□支援部門				1034	老人センター等管理運営事業					
主管課	高齢者いきいき課		関連課		1270	老人センター等管理運営事業					
分野名	健康福祉										
目標 (目標値)	高齢者の教養の向上と心身の健康増進										
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考							
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)							
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯								
運営資源 状況	決算値	203,667千円	207,936千円								
	(国・県)	2,180千円						指標と評価			
	(負担金等)							指標	60歳以上対象者数 延利用人数		
	(一般財源)	203,667千円	205,756千円					評価	×		
	人員配置数	0.8人	0.8人					◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退			
	人件費	7,492千円	7,542千円					目標値		実績値	
	協働の パートナー	社会福祉協議会	社会福祉協議会								
事務事業 運営経費	総事業費	211,159千円	215,478千円	H21 対象者数 (60歳以上) :61,843人							
	市民1人当 りの経費	1,195円	1,220円	20年度	60,610人	156,583人					
	対象者1人 当りの経費	3,415円	3,555円	21年度	61,843人	155,020人					
ベンチマ ーク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名					22年度					
						23年度					
						最終年度 (年度)					
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 利用人数の拡大									
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 利用者アンケートを行い、ニーズを把握しながら、改善に努めている。 また、センターの活動を市民に知ってもらうため、活動内容の展示を定期的に行った。 老朽化した名越やすらぎセンターのボイラー改修など各施設の修繕を行い、施設機能の維持に努めた。									
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 利用人数の拡大									
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 今後も、利用者ニーズに応えるべく、指定管理者・利用者との協議しながら改善に努めていく。 また、地域の連携を促進する。 各施設の老朽化について、今後、計画的に対応していくことを検討する。									
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)							
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了											
評価結果	改善の必要性	高年齢が進む中、元気な高齢者の学習意欲の向上と健康の増進、生きがいの充実と団塊世代に必要な施設内容づくりのため継続していく。		評価結果	改善の必要性	生きがい対策として必要な施設である。運営については今後さらに検討していく。					
B	有			B	有						
課長名		高齢者いきいき課長 比連崎 勝		部名・部長名		健康福祉部長 石井 和子					